

国語科年間指導計画【3年文学国語(総合・美術コース)】

■単位数	2	■使用教科書(出版社)	探求 文学国語(桐原書店)
------	---	-------------	---------------

■目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的・的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書を楽しむ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
-----	--

■内容	<p>(知識及び技能)</p> <p>(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。</p> <p>イ 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>ウ 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めること。</p> <p>エ 文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使うこと。</p> <p>(2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。</p> <p>イ 人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。</p> <p>(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>A 書くこと</p> <p>ア 文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にすること。</p> <p>イ 読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫すること。</p> <p>ウ 文体の特徴や修辭の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫すること。</p> <p>エ 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を捉えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。</p> <p>B 読むこと</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。</p> <p>イ 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること。</p> <p>ウ 他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察すること。</p> <p>エ 文章の構成や展開、表現の仕方などを踏まえ、解釈の多様性について考察すること。</p> <p>オ 作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。</p> <p>カ 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めること。</p> <p>キ 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のもの見方、感じ方、考え方を深めること。</p>
-----	---

■評価の観点とその趣旨	<p>(1) 知識・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。</p> <p>(2) 思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばしているとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。</p> <p>(3) 主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めているとともに、生涯にわたって読書を楽しむ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>
-------------	--

月	単元名	知識及び技能				思考力、判断力、表現力等								言語活動	教材	評価の観点及び評価方法	配当予定時数											
		(1)		(2)		書くこと				読むこと																		
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ					ウ	エ	オ	カ	キ						
4	イントロダクション				●																	1						
	構成や展開を工夫する		●							●									本文の構成について話し合う	愛のサーカス	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	4						
5	表現の仕方を踏まえ、多様な解釈をする			●										●				表現の特徴について考える	少年という名前のメカ	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	5							
	内容を的確に捉える	●								●								内容について話し合う	檸檬	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	5							
6	語り手の視点を意識して、内容を解釈する			●							●							作品の解釈につまどめる	詩(草野心平、谷川俊太郎)	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	4							
	作品の解釈を踏まえ、考えを深める														●			エッセイを書く	客ざらい	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	4							
7	多様な解釈を考える		●									●	●					作者の意図を考察する	氷男	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	4							
9	自分の物の見方や考えを深める															●		複数の資料をもとにまとめる	畜犬談	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	6							
	作品の解釈を深める															●		解釈について発表する	俳句	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	5							
10	展開を正確に捉える				●						●							展開について考察する	舞姫	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	6							
	複数の情報を整理し、表現したいこと明確にする				●					●								複数の資料をもとに、自分の主張を書く	詩人のふるさと	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	6							
11	助言を踏まえて自分の作品をどらえなおす		●							●								作品についてアドバイスをする	短歌	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	5							
	解釈を踏まえ、自分のもの見方を深める										●					●		社会とのつながりを考える	参加する観客-映画の「意味」	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	7							
12	読み手を引き付ける独創的な文章を考える	●								●								書かれている内容を吟味する	短編小説を書く	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	4							
1	作品の背景を踏まえて、内容の理解を深める				●										●			内容について話し合う	変身	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	7							
	助言を踏まえて書く		●							●								エッセイを書く	エッセイを書く	(1)小テスト、定期テスト (2)ワークシート、小テスト、定期テスト (3)ワークシート、定期テスト	2							
2																												
3																												
単元数		2	3	3	2	2	2	1	1	1	1	2	2	1	1	2	2	2	1	配当予定時数合計	75							
配当予定時数		6															4	4	4	7	11	4	4	4	9	12	11	6

- 「書くこと」に関する指導の配当予定時数 21 時間 (4単位の場合30~40時間程度)
- 「読むこと」に関する指導の配当予定時数 57 時間 (4単位の場合100~110時間程度)

教科	科目	単位数	学年	集団
理科	生物基礎	2	3年	総合コース

使用教科書	副教材等
改訂版 新編 生物基礎(数研出版)	三訂版 リードLightノート生物基礎 (数研出版)

<p>科目の目標</p> <p>日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を身に付けることを目指す。</p> <p>・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</p> <p>・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができています。
② 思考・判断・表現	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしている。

<p>評価方法</p> <p>知識・技能: 定期テスト、小テスト、授業プリント、ノート等 思考・判断・表現: 授業プリント、グループワークの取組等 主体的に学習に取り組む態度: 授業振り返りシート、課題や提出物の取組状況等</p>

学習計画				評価の観点		
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	①	②	③
一学期 中間テスト	生物の特徴	生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝 呼吸と光合成	・生物がもつ共通性について理解している。 ・生命活動にはエネルギーが必要であることを理解できる。	○		
			・さまざまな生物の比較に基づいて、すべての生物に見られる特徴について考え、共通性を見いだすことができる。 ・学習事項に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。		○	
一学期 期末テスト	遺伝子とそのはたらき	遺伝情報とDNA 遺伝情報の複製と分配 遺伝情報の発現	・DNAの構造および塩基の相補性を理解する。 ・体細胞分裂の過程でDNAが複製され、分配されることを理解する。	○		
			・DNAの構造の模式図をもとに、DNAが4種類の塩基からなること、塩基の結合はAとT、GとCの間で起こるという規則性に気づき、説明できる。 ・学習事項に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。		○	
二学期 中間テスト	ヒトの体内環境の維持	体内での情報伝達と調節 免疫のはたらき	・自律神経系と内分泌系が、からだを調節するしくみを理解する。 ・免疫のはたらきを理解する。	○		
			・運動によって心拍数が増加するしくみを考察し、説明できる。 ・学習内容をもとに、病原体に対する免疫のはたらきを考察でき ・学習事項に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。		○	
二学期 期末テスト	生物の多様性と生態系	植生と遷移 植生の分布とバイオーム	・植生の遷移の過程と、遷移が進行する要因について理解する。 ・世界や日本に見られるさまざまなバイオームの成立条件を理解する。	○		
			・遷移の過程を示した資料をもとに遷移の過程で裸地から低木林に移り変わる要因、植生の樹種が交代する要因について考察し説明できる。 ・学習事項に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。		○	
三学期 学年末テスト	生物の多様性と生態系	生態系と生物の多様性 生態系のバランスと保全	・生態系がどのように構成されているのかを理解する。 ・生態系保全のために行われている活動を理解する。	○		
			・生態系における個体数の変化を調べた実験結果に基づき、ある生物が種多様性に対して果たす役割を考察し、説明できる。 ・学習事項に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。		○	

教科	科目	単位数	学年	集団
保健体育	体育	2	3年	3学年

使用教科書	副教材等
	ステップアップ高校スポーツ(大修館書店)

科目の目標 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、 ・運動の多様性や体力の必要性について理解している。 ・運動が豊かに継続することができるようにするための技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、 ・合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する力を身に付けている。 ・解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、 ・公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を高めようとしている。 ・健康・安全を確保したり、運動を主体的に取り組もうとしている。

評価方法
・運動の知識・技能の点検、確認、分析(スキルテスト、定期テスト、発表会、学習プリント・ノート等) ・記述の点検、確認、分析(学習プリント・ノート、グループワーク等) ・取組状況の観察、確認(グループ活動の姿勢、安全性の確保、授業への取組状況 等)

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	体づくり運動	体ほぐしの運動 (集団行動、体ほぐし)	集合、整頓、列の増減、方向変換などの仕方を理解し、行動できる。	○		
			定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを理解できる。	○		
			いろいろな体ほぐしの運動を行うことを通して、気付いたり、仲間と関わりあったりしている。		○	
			集団行動や体ほぐし運動を自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保し活動している。			○
5	球技	ネット型	選択した球技において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて、学習した具体例を挙げている。	○		
			役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすることができる。	○		
			選択した球技について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。		○	
			球技の学習に自主的に取り組もうとしている。			○
		ゴール型	球技において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて、理解している。	○		
			安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	○		
			攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		○	

			自主的に取り組み、互いに助け合い、教え合おうとしている。			○
6	水泳	クロール、平泳ぎ	各種目で用いられる技術の名称やポイントを理解し、それぞれの技術を実践することができる。	○		
			合理的な動きと自己の動きを比較して、成果や改善すべきポイントを見付けることができる。		○	
			自主的に取り組むとともに、事故防止の心得を遵守し健康・安全を確保している。			○

7	体育理論	生涯スポーツの見方・考え方 ライフスタイルに応じたスポーツ	スポーツの文化的価値や、心身の健康保持増進・生活の質(QOL)の向上に果たす役割を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			ライフステージ(発育期、成人期、高齢期など)に応じた心身の変化と、適切なスポーツの関わり方を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			生涯にわたってスポーツを享受することの意義について、多角的な視点から自分の考えをまとめることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
			スポーツの多様な価値を認め、日常生活の中で積極的に運動に親しもうとする意欲を持つことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
9 10	体づくり運動	実生活に生かす運動の計画 (新体力テスト、体力を高める)	運動には体力向上の原則があることを理解し、運動のねらいやバランスを考え、自分にあった運動を計画し取り組むことができる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			運動のねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
			自主的に取り組むとともに、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保すること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
11	球技	ベースボール型	身体の軸を安定させてバットを振りぬくことができる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			移動しながらボールを捕ること、一連の動きでねらった方向へ投げることができる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			バット操作、ボール操作及びボールを持たないときの動きなどの改善についてについてのポイントを発見している。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
			自己やチームの課題の解決に向けて、自己の考えを述べたり相手の話を聞いたりしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
	ダンス	現代的なリズムのダンス (女子)	ダンスには、その踊りの特徴と表現の仕方があることを理解している。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせて、動きに変化を付けて踊ることができる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			ダンスの特徴に合わせて、よい動きや表現と自己や仲間の動きや表現を比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間と伝え合い、合意形成を図っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
			課題について、互いに助け合い教え合おうとしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
12	体育理論	スポーツを推進する取り組み	行政や地域の役割、スポーツ環境の整備、共生社会の実現に向けた推進体制について正しく理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			スポーツ推進のための課題を把握し、誰もが平等にスポーツを享受できる環境のあり方について検討できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
			スポーツを支える活動の重要性を認識し、より良いスポーツ環境の形成に協力・参画することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
1 2	球技	ゴール型	選択した球技において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて、理解している。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
			自主的に取り組み、互いに助け合い、教え合おうとしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
2	体育理論	豊かなスポーツライフの創造	科学的な知見に基づき、自分に適したスポーツプランの設計方法を習得できる。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			卒業後のライフスタイルを展望し、無理なく継続できる合理的な「マイ・スポーツプラン」を作成できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
			作成したプランに基づき、生涯にわたる豊かなスポーツライフを自ら創造しようとする態度を形成できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>

教科	科目	単位数	学年	集団
保健体育	体育(スポーツⅡ)	2	3年	総合・美術コース

使用教科書	副教材等
	ステップアップ高校スポーツ(大修館書店)

科目の目標
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。</p> <p>(2) 球技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツⅡを通してスポーツを推進及び発展するための事項を理解している。 ・体力や技能の程度、性別や目的、障害の有無など様々な違いを超えて、スポーツを楽しむために調整し合意したマナーを実践している。
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・発見した動きの改善点や、効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えることができる。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともにスポーツⅡを楽しむための調整の仕方を見つけている。 ・多様(目的、年齢、性別、経験、障害の有無など)な参加者と共に運動するための調整の仕方や競技会の運営方法を提案している。
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・公正、協力、責任などのスポーツの持続可能性及び規範を遵守する社会の創造に寄与する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・多様性・共生などのスポーツを通じた共生社会の実現に寄与する学習に意欲を高めようとしている。

評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ・運動の知識・技能の点検、確認、分析(スキルテスト、定期テスト、発表会、学習プリント・ノート等) ・記述の点検、確認、分析(学習プリント・ノート、グループワーク等) ・取組状況の観察、確認(グループ活動の姿勢、安全性の確保、授業への取組状況 等)

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4 5 6 7 9 10 11 12 1	球技 ①～⑤の選択	①ネット型	選択した球技において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて、学習した具体例を挙げている。	○		
			役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすることができる。	○		
			選択した球技について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。		○	
		②ゴール型	球技の学習に自主的に取り組もうとしている。			○
			選択した球技において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて、理解している。	○		
			安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	○		
		③ベースボール型	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		○	
			自主的に取り組み、互いに助け合い、教え合おうとしている。			○
			身体の軸を安定させてバットを振りぬくことができる。	○		
		④ターゲット型	移動しながらボールを捕ること、一連の動きでねらった方向へ投げることができる。	○		
			バット操作、ボール操作及びボールを持たないときの動きなどの改善についてについてのポイントを発見している。		○	
			自己やチームの課題の解決に向けて考えを述べたり相手の話を聞いたりしている。			○
		標的までの距離や方向、ボール等のスピードや回転をコントロールするための体の動きを中心に扱うことができる。	○			
		合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。		○		
		ルールや用具、競技人数や競技場所を変えて全員が楽しめるようにゲームを行うなど、多様な楽しさを味わう方法を発見している。		○		
		自主的に取り組み、互いに助け合い、教え合おうとしている。			○	

		⑤ゴール型	球技において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて、理解している。	○		
		⑤ゴール型	安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	○		
		⑤ゴール型	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		○	
		⑤ゴール型	自主的に取り組み、互いに助け合い、教え合おうとしている。			○

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語(英語)	英語コミュニケーションⅡ	4	3年	総合・美術コース

使用教科書	副教材等
Power On English Communication Ⅱ	Power On English Communication Ⅱ WORKBOOK Database 3300 基本英単語・熟語

科目の目標 (1)聞くこと 日常的话题について、話される語句や文、情報量において多くの支援を活用すれば必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 (2)話すこと[やりとり] 日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝えあったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。 話すこと[発表] 日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 (3)読むこと 日常的话题について、使用する語句や文、情報量において多くの支援を活用すれば必要な情報を読み取り書き手の意図を把握することができるようにする。 (4)書くこと 日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めている。 ・聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解する。 ・これらを活用して、適切に表現したり伝え合ったりする。
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	
ペーパーテスト パフォーマンステスト	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	Vending Machine	Lesson 4	海外のウェブサイトから内容を読み取ることができる。	○	○	
			自分の住む地域に設置する自動販売機を紹介するポスターを作成し、発表することができる。		○	○
5	Braille Neue	Lesson 5	ブレイルノイエの開発者のインタビューを聞き、開発の経緯を聞き取ることができる。	○	○	
			校内でのユニバーサルデザインの導入の具体案を提案することができる。		○	○
6 7	New Banknotes	Lesson 6	新紙幣についての記事を読み、目的や理由を明確に読み取ることができる。	○	○	
			新紙幣をデザインを考え、それについてグループ内で発表し合うことができる。	○		○
9	Some Secrets about Colors	Lesson 7	色が人々に与える影響について、それぞれの色の効果の違いを読み取ることができる。	○	○	
			色の心理的効果を考慮して、部屋の内装についてアドバイスをし合うことができる。		○	○
10	Powdered Natto	Lesson 8	納豆パウダーについて、その活用方法や利点、可能性を聞き取ることができる。	○	○	
			納豆パウダーについて、セールスポイントを明確にして実演販売を演じることができる。		○	○
11 12	Flying after Her Dreams	Lesson 9	ベシー・コールマンの経歴、人物像、夢などについて、詳細を読み取ることができる。	○	○	
			インタビュー活動で聞かれる質問と回答を考え、お互いにインタビューすることができる。		○	○
1	To Work or Not to Work?	Lesson 10	ロボットと仕事についての論説文を読み、内容を整理しながら読み取ることができる。	○	○	
			自分の今後の進路について、具体的な内容を発表し、質問し合うことができる。		○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
芸術	彫刻	2	3年	美術コース3年生

使用教科書	副教材等
	プリント等

科目の目標 彫刻に関する学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 表現の特性について理解を深めるとともに、専門的な技術を身に付けるようにする。 (2) 表現及び鑑賞に関する思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3) 彫刻表現の可能性を追求する態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	彫刻表現におけるそれぞれの表現形式の特性について理解を深めていること(知識) 発想や構想したことなどを基に、様々な表現方法や用具などを工夫して独創的・創造的に表すことができること(技能)
② 思考・判断・表現	彫刻表現におけるそれぞれの専門的な知識や技能などを活用し、創造的に発想し構想を練ったり、作品などに対する見方や感じ方を深めたりしていること
③ 主体的に学習に取り組む態度	「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」の資質・能力を身につけようとする意志的側面を、①粘り強さ、②学習の自己調整の視点で評価する。
評価方法	
ア・創作への取り組み イ・仕事の丁寧さ、作品の内容 ウ・アイデアスケッチやワークシートへの記述内容 エ・提出物の内容 アからエ これらを観点別に見取り総合的に評価する。	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4 5 6	木彫 木の性質について 面取り 粗削り	「はしもとみおの木彫り教室」 (角川書店) プリントを使用	木彫について、工程、作品、材料の理解を深める。 使用する木材の木目や硬さなどの材料の性質と、付け足したりやり直したりすることがしにくいという技法の特性を理解することができる。発想の段階においてアイデアスケッチや簡単な形を作りながら主題を生成し、表現の意図を明確に把握しながら、完成に至る確かな計画と見通しをもって制作を進め、表現を追求することができる。	○	○	○
7	鑑賞 彫刻家 三沢厚彦「三沢厚彦の彫刻表現に学ぶ。」	「ANIMALS」 misawa atsubiko プリントを使用	彫刻家・三沢厚彦の作品と制作過程を鑑賞することで、主として使用する木材について木目や硬さなどの材料の性質と木彫技法の特性を理解する。木への着彩を含めた作品の特徴や表現技法の工夫等に気付き、作品のよさや美しさを感じ取り、作者の意図や心情について考え、感性を磨き、見方や感じ方を深めることができる。	○		○
9 10	木彫仕上げ 着彩	高村光雲全集(後援支援文庫) 「ANIMALS」三沢厚彦 (千葉市美術館 展覧会図録) プリントを使用	粗削りした状態から丸み出しをしながらモデルを削り出す、細部の仕上げまでできる。 木彫を完成させ、着彩を施し、木彫作品の完成までを学ぶ。	○	○	○
11 12 1	卒業制作		塑造であれば、主として使用する粘土や石膏などについて、可塑性や固まり方などの材料の性質や、形態や大きさ、削ったり付け足したりすることの自由度が比較的高いという特性を生かして、主題を明確に把握しながら、制作方法を十分検討し、創意工夫や試行錯誤を繰り返しつつ、表現を追求することができる。 彫像であれば、使用する木材の木目や硬さなどの材料の性質と、付け足したりやり直したりすることがしにくいという技法の特性を理解することができる。発想の段階においてアイデアスケッチや簡単な形を作りながら主題を生成し、表現の意図を明確に把握しながら、完成に至る確かな計画と見通しをもって制作を進め、表現を追求することができる。 3年間の集大成として作品を完成することができる。	○	○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
芸術	素描	4	3年	美術コース3年生

使用教科書	副教材等
新版 基礎から身に着く はじめてのデッサン	プリント等

科目の目標 素描の学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 表現材料の特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身に付けるようにする。 (2) 対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3) 造形表現を追求する態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	素描に適した表現材料の特性を生かせるよう理解を深めていること(知識) 対象を深く観察したことを基に表現を工夫して的確に表すことができること(技能)
② 思考・判断・表現	深い観察を通して、対象のイメージや空間を把握することができること。
③ 主体的に学習に取り組む態度	「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」の資質・能力を身につけようとする意志的側面を、①粘り強さ、②学習の自己調整の視点で評価する。

評価方法
ア・創作への取り組み イ・仕事の丁寧さ、作品の内容 ウ・アイデアスケッチやワークシートへの記述内容 エ・提出物の内容 アからエ これらを観点別に見取り総合的に評価する。

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	静物デッサン	p.108～127	身近なものを対象として、深く観察し、均衡、律動、比例などの美的秩序を確かめ、主体的に向き合い、イメージや空間、形態などを把握し、質感などの表し方を工夫し表現できる。	○	○	○
5	スケッチ	スケッチ・ブック (プリント)	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を工夫し、個性豊かで創造的に表すことができる。	○	○	○
6 7	人物デッサン 解剖学をふまえて 骨格と筋肉	優しい美術解剖図(マー ル社)プリントを使用	解剖学をふまえ、骨格を中心に関節の把握、筋肉のつき方と動きを知ることにより人体の均衡、律動、比率を正確に描きだすことができる。	○	○	○
9 10	身近な人を描く	p.136～249	対象となる人物との関係や受ける印象をもとに発想を広げ、工夫して描く。	○	○	○
11	石膏像 胸像 ブルータス	p.180～189	石膏像(胸像)を鉛筆で描く、材料や用具についての特性を理解し、表現の意図に沿って工夫しながら、表現技法を身につけることができる。	○	○	○
12 1	静物 複合体	p.128～133	身近なものを対象として、深く観察し、均衡、律動、比例などの美的秩序を確かめ、主体的に向き合い、イメージや空間、形態などを把握し、質感などの表し方を工夫し表現できる。	○	○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
芸術	構成	2	3年	美術コース3年

使用教科書	副教材等
誰も教えてくれないデザインの基本	プリント等

科目の目標 構成の学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 造形的な創造活動に関わる諸要素について理解を深めるとともに、専門的な技術を身に付けるようにする。 (2) 造形的な表現効果を高めるための基礎となる思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3) 造形感覚を高めようとする態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	造形的な創造活動に関わる諸要素やその働きについて理解を深めていること(知識) 材料や用具を工夫して的確に表すことができること(技能)
② 思考・判断・表現	構成の美しさなどを考えて調和のとれた配色をしたり、材料を活用して表現効果を高めたりしていることや、対象の見方や感じ方を深めていること。
③ 主体的に学習に取り組む態度	構成の美しさなどを考えて調和のとれた配色をしたり、材料を活用して表現効果を高めたりしていることや、対象の見方や感じ方を深めていること。
評価方法	
ア・創作への取り組み イ・仕事の丁寧さ、作品の内容 ウ・アイデアスケッチやワークシートへの記述内容 エ・提出物の内容 アからエ これらを観点別に見取り総合的に評価する。	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	平面 色彩構成	chapter7	形態や色彩を吟味し効果的な使い方を考え、構造や機能の理解を深め、それらを総合的に扱い、構成の美しさなどを考えながら美的秩序を意図して構成画面をつくることができる。	○	○	○
5						
6	立体構成 モビール制作	モビールの教科書(誠文堂新光社)プリント使用	材料に触れ、材質感を感じたり、加工したりする体験を通して、表現の可能性を追求するとともに、材料と用具を活用して表現効果を高めることができる。	○	○	○
7						
9	もの派に学ぶ 空間構成	もの派-再考(国立国際美術館 編集)プリント使用	形態や色彩、材料などの効果的な使い方を考え、構造や機能の理解を深め、それらを総合的に扱い、構成の美しさなどを考えながら美的秩序を意図して平面や立体などに表すことができる。	○	○	○
10						
11	卒業制作		形態や色彩、材料などの効果的な使い方を考え、構造や機能の理解を深め、それらを総合的に扱い、構成の美しさなどを考えながら美的秩序を意図して平面や立体などに表すことができる。	○	○	○
12						
1						

教科	科目	単位数	学年	集団
芸術	絵画	2	3年	総合コース・美術コース3年

使用教科書	副教材等
	プリント等

科目の目標 絵画に関する学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 表現の形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けるようにする。 (2) 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3) 絵画表現の可能性を追及する態度を養う。
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	絵画表現におけるそれぞれの表現形式の特性について理解を深めていること(知識) 発想や構想したことなどを基に、様々な表現方法や材料や用具などを工夫して独創的・創造的にあらわすことができること(技能)
② 思考・判断・表現	絵画表現において、専門的な知識や技能を活用し創造的に発想し構想を練ったり、作品などに対する見方や感じ方を深めたりしていること。
③ 主体的に学習に取り組む態度	「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」の資質・能力を身につけようとする意志的側面を、①粘り強さ、②学習の自己調整の視点で評価する。

評価方法
ア・創作への取り組み イ・仕事の丁寧さ、作品の内容 ウ・アイデアスケッチやワークシートへの記述内容 エ・提出物の内容 アからエ これらを観点別に見取り総合的に評価する。

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4 5	水彩画 風景 人物	水彩画ルールブック(日 貿出版社)プリント使用	透明水彩絵の具及び不透明水彩絵の具のそれぞれの特性と制作 の手順の違いや表現効果について理解し、紙質や地肌、絵肌など を生かした表現技法を工夫することができる。	○	○	○
6 7	古典技法学ぶ ルネッサンス期の 絵画 テンペラ技法 バロック期の絵画 グラッシュ技法	西洋美術館(小学館)プリ ントを使用	フィリッポ・リッピ作「聖母子と二天使」を題材にテンペラ画の伝統技 法とカラヴァッジョ作「バックス」を題材にグラッシュ技法を学び習得 する。 その時代特有の画材や表現方法を知り、絵具や多様な画溶液など の材料、筆やナイフなどの用具のもつ特性について理解し、自らの 主題に応じた表現方法を追求することができる。	○	○	○
9 10	自画像	やさしい美術解剖図 (マール社)プリントを使 用	自画像を描くことにより、自己を深く観察するとともに人体頭部の均 衡、律動、比例など人体の美的秩序を確かめ、主体的に対象に向 きあい描きだすことができる。	○	○	○
11 12 1 2	卒業制作		絵画の幅広い表現方法、絵具や多様な画溶液などの材料、筆や ナイフなどの用具のもつ特性について理解し、自らの主題に応じた 表現方法を追求することができる。 3年間の集大成として絵画作品を完成することができる。	○	○	○